

# 今後の中里地域小中学校の方向性について

教育委員会では、2年前に「中里地域の小学校の教育環境についての町民説明会」、昨年は「中里地域教育環境アンケート」を実施し、中里地域の学校教育の方向性について慎重に検討して参りました。皆さまからいただいた意見を分析した結果、少子化によって規模が縮小している状態の改善及び各小中学校の老朽化への対応が必要であると考えています。

よりよい教育環境でたくましく生きる子どもを育成するため、小泊地域での小中一貫校が順調に進んでいることをふまえ、今後の方向として、中里中学校の敷地内に小中一貫教育の「義務教育学校」設置を目指します。

## 統合のイメージ



中里小学校  
(R10年度末閉校)



武田小学校  
(R10年度末閉校)



薄市小学校  
(R10年度末閉校)



中里中学校  
(R10年度末閉校)

統合

## 義務教育学校

(令和11年度開校)  
中里中学校敷地内

※「義務教育学校」とは、1人の校長の下、1つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する学校のことです。

## 統合までの流れ

### 【令和6年度】

中里中学校施設耐力度調査業務の実施  
耐力度調査結果をふまえ、整備方針を決定(改修または新築)

### 【令和7～8年度】

基本・実施設計業務の実施

### 【令和9～10年度】

改修または新築工事の実施

### 【令和11年度】

小中一貫校(義務教育学校)開校

### 《建物の整備》

耐力度調査結果(現中里中学校)

結果によって

改修

新築

①長寿命化改修

②危険改築制度適用

## ■校舎の整備

統合した義務教育学校の校舎は、左図のとおり現中里中学校の耐力度調査によって、改修するか、新築するかを決定します。なるべく町にとって負担にならない建築費用となるよう努めて参ります。

## ■説明会や検討委員会の開催

まだ、校舎の全体像が見えないなど説明の材料に乏しい状況ですが、耐力度調査の結果が判明し、校舎の整備方針が決まり次第、保護者や町民向けの説明会、新たな学校の姿を検討する委員会の設置などを行っていきます。

## ■開校年度

文部科学省の改修関係補助金が、建築後40年経過することで手厚くなることなどをふまえ、令和9年度に工事に着手し、令和11年度に開校することとしました。

## お問い合わせ先

教育委員会 学校教育係  
電話 57-2111(内線1932)

# メタバースを利用した中泊町の新たな英語教育について

現状の英語教育に横たわる「話せない」「書けない」という課題に対し、安価に英語学習と留学体験ができるプログラムの提供を12月8日に記者発表しました。

この英語教育を導入するのは、単に学力の向上だけでなく、国際的な人のつながり(ネットワーク)をもつことで、小さな日本だけでなく世界をまたにかけて活躍する人材を、町から輩出するという目的から行うものです。

## 将来の子ども像

- ・20年後を見据えた世界に通用する人材育成
  - ・子ども達が生きていく世界は日本だけに限らない
  - ・国際的な多様性の理解
- 早い段階で「慣れ親しむ英語」を実践し、言語活動能力を育成する必要

## 中学校卒業までの目標

- ・ネイティブスピーカーと英語で会話できる
- ・自分の意見や考えを英語で発表できる
- ・異文化をちゅうちょなく受け入れることができる

## 新たな取り組み

### メタバースによるオンライン英会話学習

小学3年生～中学3年生まで、学習用タブレットを活用し、メタバース仮想教室で海外講師とオンライン英会話学習を行います。

#### ①オンラインによる英会話学習

オリジナル教材を使い、マンツーマンまたはグループで講師と英会話レッスン

#### ②オンライン国際交流ライブスタディツアー

海外の町並みや生活の様子を、ライブ配信を見ながら英語で会話して交流するオンライン留学体験

## 今後の計画

薄市小学校をパイロット校として、R5年度～R6年度に試験的に実施し、R7年度から町内全校で本格的に実施します。

## お問い合わせ先

教育委員会学校教育係 電話57-2111(内線1933)